

# 低コストで効率的な施業の推進に向けて

～列状間伐施業の推進～

十勝西部森林管理署東大雪支署

## 【現状・課題・目的】

- 列状間伐は優良木の生産に支障が出るとの懸念
  - 風倒被害への懸念。
- など、森林所有者の懸念の払拭と、列状間伐の効率性等の理解と普及が課題となっている。
- 列状間伐等の普及により、低コストで効率的な施業の定着を目的に取り組んでいく。

## 【これまでの取り組みや成果】

「列状間伐施業の推進」に  
取り組み、道有林の列状間伐箇所  
での意見交換、実行管理推進  
チーム会議で情報共有、総合振  
興局主催の現地検討会で情報提  
供するなどした結果、道有林で  
2回目列状間伐と一部の自治体  
で列状間伐が実施され始めた。



## 【平成30年度の取組結果・成果】

### ① 工程管理システムの活用

・請負生産事業を実施している事業者へ、工程管理プログラムの概要、データ収集の目的を説明し理解を得るとともに、請負事業における工程管理やコストを意識した事業を実施してもらうことができた。

・請負生産事業終了後、工程管理プログラム(※)を用い定性間伐と列状間伐ごとの入力結果に基づくデータ収集を行った。

※「工程管理プログラム」とは、パソコンを活用して作業工程と生産コスト、機械ごとの作業工程を把握し、効率的な作業方法を支援するソフトウェア。



事業地の概要等

伐採方法	面積 (ha)	樹種	林齢	間伐率 (%)	林地傾斜 (度)	平均集材距離 (m)	功程 (m3)
列状	22.55	トド・エゾ・アカエゾマツ	47	25%	17	2,282	10.07
定性	53.92	カラマツ	48・49	25%	23	1,650	8.13

・傾斜、面積など林地条件ごとのデータを整理すると共に、工程管理のポイントや列状間伐の作業工程などの見える化を行い、列状間伐施業の推進に向けて、継続してデータの蓄積行っていく。

### ② 列状間伐の普及

実行管理推進チーム会議で情報を共有し、総合振興局主催の現地検討会に参画するとともに、民有林関係者に列状間伐のメリット、実施した作業システム等の技術情報を説明し、列状間伐への理解と普及を図った。

## 【今後の目標】

### 低コストで効率的な施業の民有林への普及を目指します。

今後の製品生産請負事業等において、工程管理プログラムを用いたデータ収集や分析を行い、コスト等の見える化に取り組み、工程の改善事例などの蓄積を行うことにより、**功程やコスト面からみた列状間伐のメリットを探り、列状間伐への理解と普及を図っていく。**